

釜石市「旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録 10 周年記念事業」に参画 ～釜石鉱山に関わる文化財をデジタル化し地域の魅力発信に貢献～

東日本電信電話株式会社 岩手支店（支店長：後藤 高宏、以下「NTT 東日本」）と株式会社 NTT ArtTechnology（代表取締役社長：国枝 学、以下「NTT ArtTechnology」）は、「旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録 10 周年記念事業」に参画し、釜石鉱山に関わる文化財のデジタル化及び発信を通じ地域活性化への貢献を目指します。

1. 背景と目的

NTT 東日本と釜石市は、2022 年 8 月に「地域活性化に向けた連携に関する協定」を締結^(※1)し、第一次産業を中心とした地域産業振興及び地域活性化、また自治体業務の DX 化による地域課題の解決等の取り組みを共に進めています。

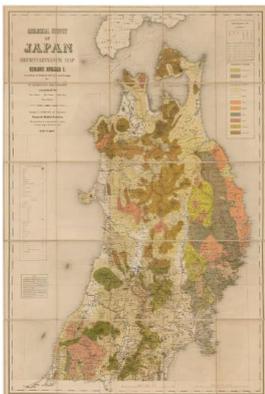
釜石鉱山は近代製鉄発祥の地として、江戸時代から昭和にかけて 100 年以上にわたり日本の製鉄を支えていました。釜石鉱山の総合事務所である旧釜石鉱山事務所は、2013 年に国登録有形文化財として登録されています。NTT 東日本と NTT ArtTechnology は、こういった釜石市が持つ貴重な文化財を後世に残し伝えていくことで、地域資源を活用した新たな価値創造に繋がると考えました。今回、「旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録 10 周年記念事業（以下「本事業」）」^(※2)へ参画し、釜石鉱山に関わる文化財のデジタル化及び情報発信を通じ地域活性化への貢献を目指しております。なお、本事業での成果は、企画展「釜石鉱山を体感する！！」にて展示いたします。

2. 本事業における NTT 東日本グループの取り組み

釜石鉱山に関わる文化財をデジタル化するとともに、その魅力を発信するサイト「釜石鉱山デジタルアーカイブ」を制作しました。

■ ナウマン「予察東北部地質図」を高精細デジタル化

ハインリヒ・エドムント・ナウマン「予察東北部地質図」を、NTT ArtTechnology の協業パートナーである株式会社アルステクネの特許技術「三次元質感画像処理技術（DTIP）」を駆使して高精細デジタル化しました。



高精細デジタル化により細部まで鑑賞可能に

デジタル化により多色刷りの工夫が明らかになりました

■ 釜石鉱山坑道、旧釜石鉱山事務所バーチャルツアー

一般公開されていない釜石鉱山の内部と旧釜石鉱山事務所バーチャルツアーを 360 度カメラで撮影し、バーチャルツアーを制作しました。

<撮影した箇所>

- ・釜石鉱山坑道全行程 (550m 坑)
- ・グラニット・ホール(地下音響実験室)
- ・鉄鉱石採掘場跡
- ・仙人秘水原水採水地(旧製造工場)
- ・旧釜石鉱山事務所



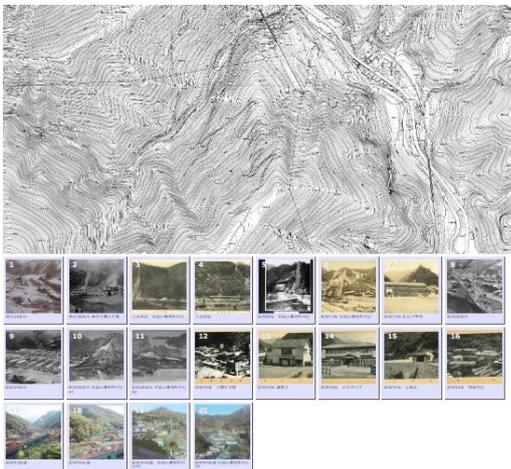
釜石鉱山 550m 坑



旧釜石鉱山事務所

■ 大橋社宅デジタルアーカイブ

釜石市が保管している官営釜石製鉄所の採掘場として始まった大橋社宅街の写真をデジタル化すると共に、当時の街並みを撮影した写真を募り、デジタルアーカイブとして構築するサイトを公開しました。市民の皆様にご写真を投稿いただくことで、デジタルアーカイブとして充実していくことを目指しています。



大橋社宅デジタルアーカイブ



昭和初年 旧鉱山事務所付近

(参考)

旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録 10 周年記念事業「釜石鉱山を体感する！！」開催概要

- ・会期：2024 年 4 月 6 日 (土) ~2024 年 5 月 13 日 (月) ※休館日：火・水曜日、ただし 5 月 1 日は開館
- ・場所：旧釜石鉱山事務所 (岩手県釜石市甲子町 1-90-22)
- ・展示内容：
 - ・ 旧釜石鉱山事務所愛称発表 (4 月 6 日 (土) 10 時)
 - ・ 釜石鉱山坑道・旧釜石鉱山事務所 VR 体験

- ・ ナウマンの地質図（予察地質図東北部）実物とレプリカを並べて公開
 - ・ 大橋社宅デジタルアーカイブ
 - ・ 釜石鉱山フォトコンテスト展
- ・ 主催：釜石市
- ・ 協力：NTT 東日本 岩手支店 、NTT ArtTechnology

(※1)

釜石市と「地域活性化に向けた連携に関する協定」を締結

https://www.ntt-east.co.jp/iwate/information/detail/pdf/20220824_01.pdf

(※2)

旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録 10 周年記念事業

<https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2024031500016/>

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ